

実践報告Ⅲ

練馬区立向山小学校 桑原透江

学年 第6学年

【議題】

「ドリームハッピーを成功させよう」

【提案理由】

「クラス全員で挑戦したり助け合ったりする場面が少しずつ増えてきたので、自分たちもお客さんも楽しめる内容と工夫を考え、協力してお店を作ることで、協調性を高めたいから。」

【話し合い1】

どんなギネスにするか

【話し合い2】

お店を盛り上げる工夫

【決まったこと】

話し合い1：やること

- ・ペットボトルフリップ
- ・鉛筆立て

話し合い2：お店の工夫

- ・テープ案内
- ・混雑状況
- ・黒板アート
- ・輪飾り
- ・黒板を目立たせる
- ・音楽を流す

学習過程から捉える実践

	事前の活動	本時の活動	事後の活動
<p>◇児童の活動内容</p> <p>◆教師の手立て</p>	<p>◇現在の学級の様子や課題を確認する。(計画・全体)</p> <p>→修学旅行を終えて、クラスの仲が深まってきたため、協力することを通して協調性を高めたいという思いを共有。</p> <p>◇学級状況を踏まえて提案理由を練り上げ、活動計画を作成する。(計画)</p> <p>◇提案理由にある「協力」は、お店作りやお店を成功に導くための協力であり、具体的にはどのような場面があるか、考えをすり合わせる。(全体)</p> <p>◇話し合うことに対する自分の考えをタブレット端末のオクリンクで送る。(個)</p> <p>◇オクリンクを見ながらジャムボードにまとめ、分類整理をする。(計画)</p> <p>◇みんなの意見が集まったジャムボードを見て、疑問や心配なことを出し合い、ジャムボードに付け足していく。(全体)</p> <p>◇話し合うことに対する自分の考えを学級会ノートに書き、前回の振り返りから話し合いのめあてを立てる(個)</p> <p>◇どこまでの範囲で話し合うのか、本時をイメージした打ち合わせをする。(計画)</p> <p>◆事前の話合いでの助言</p> <p>→「使う物の準備や準備時間、会当日のこともイメージしながら、疑問や心配をみんなで確認していこう」(全体)</p> <p>◆学級会での進行に関わることの指導</p> <p>→「話し合うこと1はどれに決まってもよさそうだね。どうやったら決めやすくなるかな?」「工夫はどのようなことが出ると予想している?」(計画)</p>	<p>◇電子黒板に、議題と提案理由のスライド、「やること」について事前の話合いでまとめたジャムボードのページを準備する。(計画)</p> <p>◇時間を意識しながら、提案理由に沿って話し合う。(計画・全体)</p> <p>◇話し合うこと1の板書は、「(お客さんが)協力できる」「(自分たちもお客さんも)楽しい、楽しめる」「その他」の枠をつくり、理由に応じて賛成の色のマグネットを貼り分け、表でまとめる。「その他」では、理由のキーワードを書いて視覚的に残す。そのため、はっきり理由を話すようにする。(計画・全体)</p> <p>◆進行時の助言</p> <p>「今の理由は、どれに当てはまるのかな?」(計画)</p> <p>◆話し合い後の教師の助言</p> <p>「今までの経験や興味をもって調べてきたことも理由に入れながら話していましたね」「笑顔で話し合いが進められたことがすてきでした」「お店を盛り上げる工夫では、副司会の『できることは全部やればいい』というまとめる発言がありましたね」(全体・個)</p>	<p>◇役割分担と当日に向けた準備(全体)</p> <p>→やることでは、ペットボトルフリップ・鉛筆立ての2つのグループに分かれる。(使う物の準備、ルール説明などは、それぞれのグループで相談して決めることとした。)</p> <p>→お店を盛り上げる工夫では、看板と混雑状況・テーブル案内・飾り(黒板アートと輪飾り)・BGMの4つのグループに分かれる。</p> <p>→お店を開く場所で準備を行い、お客さんが入った時をイメージしながら、机の配置や必要な物の確認、ルールの見直しなどを行う。</p> <p>◇当日の運営</p> <p>→店番のメンバーで相談し合いながら、回転率を上げるために新たな役割を担ったり思考を働かせて活動したりする。</p> <p>◆見通しをもつ手立て(準備時間、本番の流れ)</p> <p>→準備時間の確保(やること)</p> <p>→お客さんの導線を見据えた助言</p> <p>→分担した役割ごとの進捗状況の確認</p> <p>◆活動の振り返り(お店の運営・個々の活動について)</p>
<p>◎成果</p> <p>●課題と改善策</p>	<p>◎・提案理由に入っている「協力」は、今回の集会活動のどのような場面で生きてくるかを全員で考えたことで、事前から事後の活動までの一連の流れを見据えて話し合える土壌ができた。</p> <p>・オクリンクやジャムボードなど、タブレット端末を活用しながら意見を出したりまとめたりしたことで、時間や場所を問わず、友達の考えや学級で決まったことが見られる環境が整った。</p> <p>・決定までに時間が掛かりそうな「やること」について、全体の意見を吸い上げ、疑問や心配を出し合って事前に確認したことで種類が絞られ、学級会ノートに自分の考えとして選びやすくなった。</p> <p>●・本時が時間内に終わるように事前の話合いを入れたことで成果もあったが、授業時数などを考慮すると別の方法を探る必要がある。また、タブレット端末の操作に不慣れだと現実的ではない。</p> <p>→教室の壁面を活用し、短冊に書いて貼ったり動かしたりしながら行う方法もある。同じ解釈で進められない場合もあるが、事前の活動としては時間短縮になる。</p>	<p>◎話し合うこと1(やること)の場面</p> <p>・理由を聞いてマグネットを貼るという活動は、話す側は全員に伝わるように話し、聞く側は理由に着目しながら最後まで聞く必要があった。話す・聞くことに関する必然性が生まれた。</p> <p>・提案理由の内容が具現化できる工夫を理由としたことで、絞り込むことに時間が掛からなかった。心配の意見には、発言者が改善案を付けて発言することで、工夫につながる意見となり多くの時間を取ることはなかった。</p> <p>・合意形成の場面では、それぞれの枠に賛成や改善を伴った心配の意見が見られることを根拠として、2つの内容に決めることができた。</p> <p>●・合意形成につながりやすい言葉を板書に書き残したが、何を残したらよいか判断しづらかった。</p> <p>→板書の役割になった児童のできる範囲で、大事だと思える言葉を選んで短く書き残す程度とする。</p>	<p>◎・ペットボトルフリップと鉛筆立ての2つのグループに分かれて、ルールや使う物の準備、店番のときの役割などを話し合っていて決めた。より少人数になったことで、自分の意見を伝えやすく、必然性をもって進められた。</p> <p>・それぞれのグループで考えたルールでうまくできるかどうかを試す中で、ルールを変更したり新たに追加したり、つくり上げていく姿が見られた。</p> <p>・準備時間の途中と最後で、進捗状況の確認をし、全員が共通理解の基、準備を進めることができた。当日は、それぞれの動きを把握した上で、更に効率化を図れる工夫を児童が主体的に考え、行えた。</p>

